



横浜こどもスポーツ基金 ドリームアスリートを応援しよう！ ～パリ2024パラリンピック競技大会出場～

(公財)横浜市スポーツ協会の事業「横浜こどもスポーツ基金」は、障害のあるこどもやさまざまな事情によりスポーツに参加できないこども達等が、スポーツを通じて夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に、2009年横浜トライアスロンの開催をきっかけに2013年6月に創設されました。

同基金では、「ドリームアスリート」として、今年度は6名のアスリートを支援しており、競技に向き合い活躍する姿を市民のみなさんに観ていただくことで、スポーツの楽しさやすばらしさを伝えると共に、多くのこども達の夢や目標になるような活動をしています。

このドリームアスリートの中から4名が、パリ2024パラリンピックに出場します。応援よろしくお願いします。

JPTTA/Konakamura



齊藤 元希
さいとう げんき 22歳
パラ卓球(クラス4)
先天性脳性麻痺

パリ2024パラリンピック世界最終予選(タイ)で優勝を飾り、パリ出場を決定。

準備が整った夢の大舞台。粘り強く勝ち抜いていく姿に注目！

■男子ダブルス(MD8)、男子シングルス 出場

@横浜こどもスポーツ基金



日向 楓
ひなた かえで 18歳
パラ水泳(S5、SB6、SM5)／両上肢欠損

2大会連続出場。

日向選手の宣言通り「パリ2024パラリンピックでは、全種目で自己ベスト更新」に期待！

■50mバタフライ 出場

@横浜こどもスポーツ基金



川淵 大耀
かわぶち たいよう 15歳
パラ水泳(S9、SB8、SM9)
左膝関節離断・左大腿形成不全

「第27回日本知的障害者選手権水泳競技大会」で自身の持つアジア記録を更新。

パリ2024パラリンピックでは、更に進化した川淵選手に注目！

■400m自由形 出場



吉田 彩乃
よしだ あやの 17歳
パラ陸上(T34)
先天性脳性麻痺

@神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会

競技を始めたころから憧れ、目標としてきた舞台。「全力で楽しんでいます！」の宣言どおり、最高の走り笑顔に期待！

■100m 出場

◆◆当協会の横浜こどもスポーツ基金「ドリームプロジェクト」◆◆

全日本選手権等の出場実績がある横浜ゆかりの選手に対し、競技に係る費用などの支援等を行い、横浜からパラリンピックやデフリンピック等の国際大会に出場できる選手の輩出を目指すプロジェクトです。

横浜子どもスポーツ基金の取組み

事業:3つの活動ステージ

障害の有無にかかわらず、誰もがいつでもスポーツ活動に取り組める環境があれば、いきいきとした活力のある「希望」を持った生活につながります。また、身近なところからトップアスリートを目指す障害のある子ども達が現われ、全国大会や国際大会で活躍できれば「夢」をより身近なものに感じることができます。

そこで、「誰もがスポーツを継続的にできる環境づくり」「障害者アスリート発掘と育成」を3つの活動ステージに区分し、障害のある子ども達が身近な場所でスポーツに親しむ段階「エンジョイステージ」、競技としてスポーツに取り組む段階「チャレンジステージ」、さらにトップスポーツで活躍する段階「ドリームステージ」へ、段階的なステージを設定して活動します。



○ 事業目的

運動能力の高い子どもを発掘し、専門的なトレーニングや機会を提供することで、横浜から全国大会や国際大会に出場する選手を育成します。



Enjoy Stage

エンジョイプロジェクト

Challenge Stage

チャレンジプロジェクト

Dream Stage

ドリームプロジェクト

○ 事業目的

全日本選手権等の出場実績があり、横浜ゆかりの選手に対し、競技用品購入費用や国際大会の出場に係る遠征費用などの支援、また、医学的トレーニングサポートの支援等を行い、横浜からパラリンピックやデフリンピックなど国際大会に出場できる選手を輩出します。

○ 事業目的

障害のある子ども達が、スポーツを通して、自立心・社会性を育み、健康で心豊かな生活が送れるように、スポーツ観戦や体験など、継続的にスポーツに親しむきっかけづくりの場を提供します。



横浜子どもスポーツ基金
<http://yokohama-csf.jp/>